

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	お客様によって希望を伝えてくれる方もいれば、全く希望を聞き取り出来ていないお客様もあり、お客様全員に対して満足して頂けるサービスが提供しきれしていない。	お客様がゆひもやでの生活を楽しめるよう、お客様の声を平時から良く聞き、イベントや取り組みを行なっていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の要望を聞き取り、日ごろから記録に残して必要時に確認できるようにする。 ・ご家族様からの声も定期連絡で取り入れ、企画にする。 ・行事、イベントにはお客様の希望を取り入れ、お客様が満足できる内容となるように企画・実行する。 	6ヶ月
2	49	日常的な外出支援に置いて、屋内での運動は行なっているが、屋外での歩行訓練の頻度が少なくなっており、お客様への外出支援が不足していた。	お客様が施設内での生活ばかりとなり閉塞感を感じないように、屋外歩行訓練や車での外出、買い物に出掛ける機会を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃からお客様に屋外歩行訓練の声掛けを行い、施設外に出る機会を持つ。 ・職員の人員を調整し、お客様と車で出掛ける日を計画する。 ・お客様が買い物に行けるようご家族様とも連絡を取り、お客様に買い物に出掛けて頂く。 	3ヶ月
3	40	お客様の食事面では対応しきれないことがあり、口に合わない等の言葉が聞かれることがあった。	お客様の食事の好みを把握し、日ごろの食事内容に活かしたり、行事やイベントではお客様の嗜好に合った物を提供していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週の食材購入の際にはお客様の好き嫌いを反映したものを購入し、お客さまにも食べたい物をあらかじめ伺い、準備できるようにしていく。 ・後家族様にも協力して頂きお客様の好む物を聞き出したり、差し入れをして下さる様に要請していく。 	3ヶ月
4	33	お客様の生活能力の低下から、終末期、看取りとなるにあたって、お客様とご家族様に寄り添うケアが出来ているのか、考えていきたい。	お客様、ご家族様双方にとってこのゆひもやで過ごす時間が良い時間となり、最期には満足して頂けるように関わっていききたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の容態の変化を日々記録に残し、対応の変更が必要ならすぐに適切なケアにしていく。 ・お客様とご家族様が一緒に過ごせる時間が出来るようにいつでも面会や宿泊が出来ることを伝え、準備をする。 ・医師とも連絡を取り、お客様の苦痛を緩和できるような相談をしていく。 ・看取り対応についてのマニュアルを参考にし、どの職員でもお客様に対して一定のケアが出来るようにする。 	6ヶ月
5	34	お客様の急変時、事故発生時に職員によって対応に混乱が見られることがあり、問題を感じている。	緊急時にどの職員が対応しても正しい行動が出来るようにしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時に確認すべきマニュアル、連絡経路を各階に準備し、必要時に確認できるようにしていく。 ・対応後に不安だった点の確認を行い、必要ならばマニュアルに追加し次回以降に活用できるようにしていく。 	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。